

# 共創デザイン学科

## 1. 教育内容

複雑化し、変化し続ける社会課題に、一人の力、一つのスキルで解決に導くこと、新しい価値を創造することは難しく、多様な才能や個性を巻き込み「共に」ものごとを「創り上げていく力」が必要です。そして、多くの女性が持つ他者への共感力やしなやかなコミュニケーション力は、「共創」を生み出すための重要な基礎力と言えます。

共創デザイン学科では、多様な他者と共に構想し、共に成長しながら目標に導いていく「共創型リーダーシップ」を身に付けるための3つの特徴的な教育を行います。

創造力の基礎となるデザイン教育を踏まえた上で、多様な領域の人々と共創するための「共創教育」。そして、さまざまなライフイベントを乗り越えるための折れない心を育成する「ライフマネジメント教育」。さらに、これらの学びを統合し、応用しながら、ビジネスの現場で実践する力を身につける「産官学連携による実学」を行います。また、「共創教育」「ライフマネジメント教育」「産官学連携による実学」を1年生から循環させ、学んだことをすぐに実践する生きた教育を4年間通して積み上げます。

## 2. カリキュラム編成の特徴

### (1) 共創教育

#### [1～2年次]

自ら創り出す力、周囲を巻き込む力を身につけるための基礎を養います。

デザイン全般、テクノロジー、マーケティングなどのベーシックカリキュラムである「共創デザイン演習I-A～G」「共創デザイン演習II-A～E」「共創デザイン選択演習II-A～D」を通して、多様なクリエイティビティの基礎となる創出力と開拓力を養い、共創の基本となる思考を可視化する力、コミュニケーション力やリーダーシップのための基礎力を身につけます。また、プロジェクトデザインの基礎カリキュラム「共創デザイン実践」を通して、共創型プロジェクトに参加するための技術や知識、マインドセットを幅広く習得します。さらに、多数の講義授業・演習授業を通して、自己ブランディングや、伝統文化・芸能、表現伝達のテクニックなど多様な知識を身につけます。

#### [3年次]

1～2年次で身につけた基礎力を踏まえ、3年次ではビジネス、ブランディング、マーケティング・プランニング、サービスデザイン、そして、複数のデザイン領域を統合して課題に取り組むクリエイティブインテグレーションなど、各自が将来を見据えて選択することができる複数のカリキュラムで専門性の向上を図ります。また、「知財・ファイナンス概論」を学ぶことで、独立した個人として社会で活動するための基礎力を身につけます。

#### [4年次]

冒頭の授業では、卒業制作・研究のための準備としてテーマを探究する時間を設け、その後、3年次までの学びを踏まえ、約1年間を通してゼミ形式による卒業制作・研究に取り組みます。各自の学びの集大成として、テーマ設定から制作・研究、発表までを主体的に実施します。作品制作のほか、主体的に社会とつながるプロジェクト実践、学んできたことをさらに深める研究など、多様な取り組み内容が考えられます。

### (2) ライフマネジメント教育

1年次から4年間を通し、折れない心と自身を高め続けることのできるマインドを養います。「ライフマネジメント論」や、社会人教育との連携による「自律的キャリア教育」など、自信を持って社会に出ていくためのアイデンティティ形成のためのカリキュラムや、困難を乗り越えるための回復力や柔軟性を養い、ストレスの本質を理解することでストレスとの

上手な付き合い方を身につけるストレスマネジメントカリキュラムを実施します。さらに、失敗を恐れず、未知への一步を踏み出すことを楽しめるマインド。新たな機会や可能性を生み出す未来への楽観的な思考を身につけます。

### (3) 産官学連携による実学

1年次から4年間を通し、社会・ビジネスの現場で生きていく力を養います。

共創教育、ライフマネジメント教育の学びを踏まえて、それらを統合し、応用することを多種多様な企業や自治体との連携プロジェクトを経験しながら身に付けていきます。

多様な連携プロジェクトは、企業や自治体の抱える課題や未来構想など、年次を追うごとに高度な内容に取り組み、社会貢献意識を高めると共に実力アップを図ります。

#### 教育目標

共創デザイン学科は、伝達や用途などの目的や機能を理解し、デザインする能力をベースに、異分野の学びを身につけ、企業、自治体や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、社会に貢献する新しい価値を共に創り上げることのできる能力を備えた人財「共創型リーダー」の養成を教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	授業科目
共創デザイン学科においては、以下を学位授与の条件とします。	教育目標に到達すべく、学科共通科目を通して、デザインを軸に、ビジネス、テクノロジーを横断的に学び、実践型プロジェクトに取り組むことで、多様な人々と共創する力を身に付け、専門領域での表現に反映できるカリキュラムを編成します。	
【知識・理解】 (教養力・基礎的専門性)	デザインに関する基礎的知識と技能を活用する能力を身に付けている。	デザイン分野における基本的な理論と技法に関する理解とともに、デザイン分野の職業に関する倫理や社会的意義について理解する科目を配置する。
【関心・意欲・態度】 (主体性・開拓力・チームワーク・柔軟性)	デザインの諸活動の実践により課題に主体的に向き合い、多様な立場の人と協働して解決方法を創造する能力と態度を身に付けている。	デザイン活動を通して多様な立場の人々との協働作業を主導する姿勢、また、これらの協働により、高付加価値の商品やサービスを共に創り出す能力を養う科目を配置する。
【関心・意欲・態度】 (主体性・開拓力・チームワーク・柔軟性)	デザインの諸活動の実践を通して、生涯にわたり生じる様々なライフイベントや困難な課題を柔軟な思考と強靱な意思をもって乗り越え、自己成長を続けられる能力と態度を身に付けている。	デザイン活動の実践を通して、自己のアイデンティティを確立しその個性を磨き続ける意欲と、生涯にわたり自己成長を継続できる態度を養う科目を配置している。
【思考・判断】 (総合的判断力・創出力)	デザインの理論や手法を始めとした知識・技能を総合して社会を洞察し、デザインで解決すべき課題を見出し、その解決策を構想する能力を身に付けている。	デザイン活動に必要な独自の観察力や洞察力を高める理論と技法の修得のもと、それらを総合して見出した課題に対して、適切かつ効果的なデザイン手法を活用する能力を養う科目を配置する。
【技能・表現】 (創出力・実装力)	デザインの理論や手法を始めとした知識・技能を総合的に活用し実践型の学びを通して、商品やサービスなどの新たな価値を創造する能力とより良い社会の実現に取り組むことができる態度を身に付けている。	産官学連携・地域連携等のプロジェクトの実施により多様な立場の人々との協働による高付加価値の商品企画や構想立案に関する体験を通して、講義や演習で得た知識と技能の総合化を図る科目を配置する。

共創デザイン学科  
学科専門科目